

令和7年12月4日（木）

【第27回北陸地域連携プラットフォーム】

開会挨拶

座長 中村 信一

開会にあたり、一言御挨拶申し上げます。

この北陸地域連携プラットフォームは、令和6年能登半島地震の影響等によって、令和5年11月以降、開催が見送られておりましたが、本日、第27回目の開催を迎えることとなりました。

平成26年1月に第1回目を開催して以降、これまで「人口減少」を北陸3県の共通課題としたうえで、メンバーの皆様には様々なテーマについて議論を行っていただき、地域に向けて発信してまいりました。

この間においても、少子高齢化や若者の都市部への流出等によって、北陸地域の人口減少は進行しておりますし、令和6年能登半島地震も人口動態に影響を与えております。

人口減少問題は、労働力不足や国内需要の減少等による地域経済の縮小、社会保障制度の持続可能性への懸念、空き家の増加等による地域コミュニティの崩壊、税収の減少による行政サービスの低下など、様々な影響が懸念される問題であると考えられます。

当地、北陸地域は伝統や文化が根ざしております。また、世界に誇る「ものづくり」などに強みを持ち、雇用や住まい環境など生活基盤も豊かな地域であります。加えて、令和6年3月には、北陸新幹線が敦賀まで延伸し、地域の一体感がさらに醸成され、連携の機運も高まっています。

こうした強みや機会を生かし、人口減少への対応も変革へのチャンスとして捉え、地域の未来のために今何をするべきか、皆様とともに考えてまいりたいと思います。

本日は、大変お忙しい中、一般社団法人 人口減少対策総合研究所 理事長の河合様に御登壇いただき、人口減少がもたらす影響や北陸地域の未来を拓く方策などについて御講話いただきます。

メンバーの皆様には、積極的な御発言をお願いしまして、簡単ではありますが、座長挨拶といたします。

以上